

高齢化社会を迎え、健康づくりはますます重要になってくると思われるので、市民の健康増進が広く発展するように、各地域で活躍している保健推進員に対する研修・指導にあたり、地域での保健活動をより一層推進していきます。

**問** 市民のスポーツ振興にどのように取り組んできたか、また今後どのように取り組んでいくのか。

**教育長** 市民の健康増進を図るため、市内には現在、グラウンド5カ所・サッカー場1カ所・ゲートボール場8カ所・グラウンドゴルフ場3カ所・スポーツプラザ、その他に各小中学校の施設があります。

スポーツ団体は、体育協会では陸上、柔道など14専門部があり、約70団体が加盟し、その他の団体として家庭婦人バレーボール連盟、ゴルフ連盟、スポーツ少年団、グラウンドゴルフ協会、インディアカ協会等があり、各団体では健康増進のための運動、親睦と友情を深めるための大会を行っています。スポーツの振興・スポーツ団体のさらなる育成を図っていききたいと思います。

東部グラウンド駐車場



また、施設面では東部グラウンドの駐車場不足が課題となっており、現在の駐車台数は約30台程度で、大会等行うときには不足する場合があります。駐車確保については、年間の大会回数や駐車場の不足状況を見ながら、将来的には検討していききたいと考えています。

個人 質問 山本 正美

八街駅周辺整備

**問** 八街駅周辺の整備等は市勢発展の中核をなすものと考えているが、その整備に今



自由通路エスカレーター

までどのように取り組んできたのか。

**市長** 市の玄関であり、都市核としてふさわしい良好な市街地形成を図ることとし、市民の利便性の向上並びに歩行者の多様な回遊性を創出し、中心市街地の活性化を目指しています。

一方、交通弱者対策のため、施設のバリアフリー化を図り、自由通路にエレベーター及びエスカレーターを設置し、利用者にとって障害となる段差や溝をできるだけなくすなどの整備を行っています。

**問** 商店街の街路灯は、市民の安全確保にも貢献してきたが、どのように評価し、今後どのように支援しようとしているのか。

**市長** 市内の10商店会等が活性化を図る目的で、平成6年度から取り組みを開始した街路灯建設事業は、商店街活性化事業として実施している唯一の同一事業であり、重要な事業として認識していま

うとしていくのか。  
**市長** 市民の皆様の提案あるいは意見に対しては、八街市総合計画や都市マスタープランとの整合性を踏まえた中で、事業に関する合意形成の支援、関係機関との調整など、技術的な支援を積極的に行い、民間主導による事業の実現に向けて、取り組んでいきたい。

が心身の状況や住宅の状況から、必要と認められた場合に行われる住宅改修については、手すりの取り付け、床段差の解消、浴室床の滑り止めや移動のための床材の変更、引き戸への扉の取り替え、洋式便器の取り替えがあり、その実施状況を見ますと、平成13年度が73件、平成14年度が110件、平成15年度が102件、平成16年度が103件、平成17年度が123件となっております。

**問** 高齢者・障がい者の住宅改修要望の推移はどうか。  
**市長** 介護保険において、住宅の要介護者、要支援者

**問** 八街市内の工務店等の機能を地域福祉の充実に貢献いただくために、福祉住環境に精通した(仮称)「八街市バリアフリー住宅士」の養成等に取り組むべきと提唱するがどうか。

**市長** 本格的な長寿社会を迎えるにあたり、高齢者・障がい者及び介護の必要な方が、快適に生活できる住環境を整備できるように市民等を対象とし、福祉住環境に精通する「福祉住環境コーディネーター」、ケアマネージャー等の協力を得て、バリアフリー住環境に対する提案・講習会等を開催できるように検討します。



八街駅南側商店街